

令和6年度
学校関係者評価報告書

令和7年3月
獨協医科大学附属看護専門学校三郷校

令和6年度 獨協医科大学附属看護専門学校三郷校 学校関係者評価 評価表

1. 領域別評価

領域	学校関係者からの意見・要望・評価等
I 学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・開校10年目を迎え、変化が必要な頃合いであり、より魅力的な学校を目指して、業務の効率化や情報共有をさらに進めていき、システム運用の整備を進めて効率的な体制を構築してほしい。 ・コミュニケーションを円滑に行い、適切な判断や意思決定につなげてほしい。
II 教育課程・教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト学習が定着してきており成果を上げている。さらに共通理解を進めて深化させてほしい。 ・外部講師や外部施設との意見交換を積極的に行い、有益な学習活動を実践することが必要である。 ・授業評価の回答率を向上させてほしい。 ・ディプロマポリシーを実現できるように教育課程を検証、改善することが必要である。
III 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の社会的評価を把握する体制を確立する必要がある。 ・関連病院への就職率を向上させるために学校側と関連施設との情報交換のあり方を検討すべきである。 ・学生の理解度を把握し、国家資格100%を維持できるよう苦手分野の把握、分析、復習を徹底してほしい。
IV 入学・卒業対策、就職・進路支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学生を確保するためには学校の特徴を明確にアピールすることが必要であり、面接を重視し、人物本位の選抜を行う必要がある。 ・卒業生の就職後の意向調査を関連病院へ協力を求めながら実施できるようにしてほしい。
V 学生生活の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・チューター制度は学生のアンケートからもよい制度であると思う。 ・休学者の増加に対して具体的な対応策を考えてほしい。 ・ボランティア活動等学生の多様なニーズに答えて、学生生活の支援を行っていることについて評価できる。 ・悩みを抱えている学生に対して教育相談体制の整備等、相談しやすい環境整備を整えてほしい。
VI 財政・施設設備の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境は十分整備されている。 ・災害発生に備えた危機管理体制の整備が必要である。近隣住民への対応も意識した防災対策を考えてほしい。 ・学生が定員割れを起こしている現状を変えるためにも対象者の動向を踏まえた対応が必要である。
VII 教職員の能力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間での学び合いが行われていることは良いと思う。 ・教員の資質向上のために教員ラダーの導入や計画的な目標管理、研修計画や評価の体制を構築することが必要である。また、教育実践に関わる研究的な取組みと自己研鑽の支援をさらに進めてほしい。
VIII 広報・地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・時代に合わせた広報活動が必要である。ホームページだけではなく、InstagramやTikTok等の利用も検討すべきではないか。 ・入学後のイメージが湧きやすいコンテンツの配信を行った方がよい。 ・三郷校だよりの定期的な配信や学生や教員の視点での情報発信が必要である。

2. 総括

プログラム学習、チューター制度やボランティア活動等様々な特徴ある取組みを実践し、また、施設設備も充実していることで、学習活動を活発化させ、学生や教員たちの満足度を上げている。さらに魅力ある学校となるためには、高等学校、学生、教員や卒業生からの情報収集が不可欠であること。学校内で様々な課題に対して、積極的に取組める体制づくりが必要であること。学校の良いところを積極的に自信をもって外部にアピールしていくこと。これらのことが必要であり、これらのことを実践することで、志望者数を増やすこと、休学者を減らすこと、卒業後の希望進路先を実現すること、学生や教員の満足度を上げること、そして学校全体の魅力度を上げることが可能となるので、今後も更なる発展が望めるような施策を実施していただきたい。